

◆ 毎月8のつく日は「早く家庭に帰る日」です!
【岐阜県】



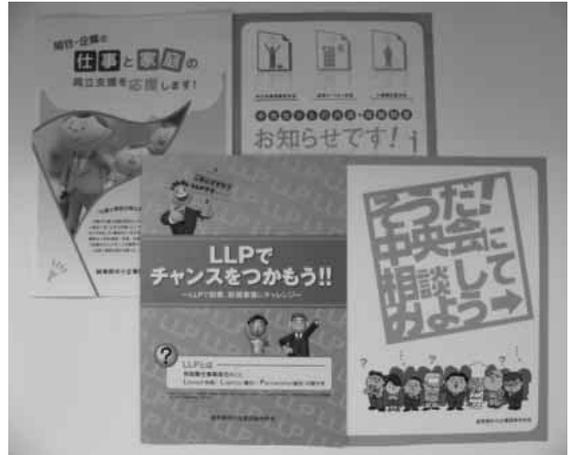
発行所
岐阜県中小企業団体中央会

岐阜市数田南5丁目14番53号
岐阜県県民ふれあい会館8階
毎月20日発行 購読料 年間1,500円(1部125円)
事務局直通電話
管理調整チーム 058-277-1100(代) 組織指導チーム 058-277-1101
広報・事業チーム 058-277-1102 情報チーム 058-277-1103
事務局FAX番号 058-273-3930
東濃支所 0572-25-0865 飛騨支所 0577-34-4300
東濃支所FAX番号 0572-23-7431 飛騨支所FAX番号 0577-36-4220



↑ 関市で「刃物とまちおこし」

→ 組合向けリーフレット



2007
4月号

主な記事

中央会の動き(モノづくりセミナーほか)
組合等の動き(ア・ミュージズ岐阜ほか)
県中小企業資金融資制度

2	3月の景況調査	5
3	会報紙に関するアンケート	6
4	事務局だより(研修会の案内ほか)	6~7

時の課題

最低賃金法の一部改正法が今国会に提出されている。都道府県ごとに定められている地域別最低賃金については、決定基準(労働者の生計費、類似の労働者の賃金、通常の事業の賃金支払能力)のうち、生計費を考慮するに当たっては、生活保護に係る施策との整合性に配慮するよう規定するとともに、不払いの罰則を大幅に引き上げる。

この問題、安倍政権の「成長力底上げ戦略」の3本の矢の1本である「中小企業底上げ戦略」の柱となるもの。賃金の底上げ 人材の確保・能力の向上 生産性の向上 経営基盤・競争力の強化 賃金の底上げとの好サイクルの実現により、所得増による消費拡大及び雇用創出を実現しようと考えによるものだ。新たに官邸主導で設置する「成長力底上げ戦略推進円卓会議」(政労使で構成)の場において、生産性向上策(下請取引の適正化、IT化・機械化・経営改善等)とともに取り組むこととしている。

新聞紙上等で、最低賃金の大幅な引き上げ議論がなされている。中小企業の多くが相変わらず厳しい環境に置かれている状況からみて問題だ。下請取引

の適正化等さまざまな施策により、まず企業業績を確保し、その結果を労使の協力によって賃金に反映させるべきではないか。そうでなければ、競争力の低下、雇用の縮小のみならず企業の存続すら脅かされかねない。また、実際に最低賃金が機能しているのは、パート、アルバイトが多いと思われる。これら人の多くはその収入のみで生活していないし、仕事の内容も正職員とは異なっている。実際に最低賃金を審議する地方最低賃金審議会では、決定基準や経済の実勢を示す指標、全国的なバランス等に基づく地道な審議が期待される。

最低賃金法の改正に思う

~ 今後の審議に注目を

今回の改正案では、産業別最低賃金については、関係労使の申出により決定(任意的規定)とし、罰則は適用しないこととしている。しかし、在り方が変わっても地域別最低賃金という屋上に屋を重ねるものであって、全国中央会を通じて廃止を働きかけてきたにもかかわらず中途半端な結果となったのは残念だ。

今後の国会審議、円卓会議の行方に注目したい。

中央会『第52回通常総会』を開催します。
現在交渉中ですが、岐阜のサッカーチーム「FC岐阜」の選手とのトークショーを予定しています。
5月28日(月)13:30~15:30 岐阜市「未来会館」

中小企業のモノづくりを考える

中央会は、県異業種グループ交流推進協議会(大久保為芳会長)と共催して、モノづくりに挑戦する中小企業を紹介するため「モノづくりを考える!」セミナーを3月9日、県民ふれあい会館で開催し、約60人が出席した。

まず、西島株式会社(自動車関連工作機械メーカー)の西島篤師社長が「一流の製品は一流の人格から」をテーマに講演した。同社の、『技術に限界なし』『学歴関係なし』『定年なし』を理念とした多能工の育成と熟練工の技術を活かした自社一貫体制への取り組み、新しい分野である「農業用自動工作機

械」の開発に成功した事例について紹介した。

また、県内のグループや企業が様々な連携により新たに開発された「モノづくり」について、けんぶんろく'97の中西代表から柿渋を利用した試作品づくりへの取り組み事例、東海理研(株)の佐藤社長からセキュリティオフィス家具分野への挑戦、特産品開発の会の驚見会長からは地元の里芋を使った商品開発に取り組んだ事例が発表された。



女性を活かした企業経営を学ぶ

中央会と中央会レディースクラブ(加藤智子会長)は、組合や中小企業の活性化の方策について考えるため「女性が伸ばす企業と組合セミナー」を3月22日にグランヴェール岐山で開催した。

第1部では、全国の中小企業を数多く訪問し、中小企業経営支援の第一人者として活躍されている静岡文化芸術大学の坂本光司教授が『女性を活かして会社を伸ばす』をテーマに基調講演を行った。坂本

教授は、「女性の社会進出が進む中、中小企業がより一層成長するためには、女性を活かした企業経営が求められている。」と話すなど、企業活性化の方策についてアドバイスした。

また、第2部では、山梨県化粧品小売(協)女性部と伏見大手筋(商振)女性部「あてらの会」の各代表から、それぞれの活動について事例が発表された。「あてらの会」では、子育てスペース『ばおばおの家』を設置し、地域密着の活動を展開するなど、女性部の活躍を紹介した。

県下3会場で組合関係税制研修会

中央会は、毎年、年度末に実施している「中小企業組合関係税制研修会」を3月下旬に県下3会場で開催した。

税理士の兼山講師から、組合特有の税制の解説や平成19年度税制改正の概要について、冊子「中小企業組合関係税制のあらまし」に基づき説明があった。今回の改正では、長年県内組合や全国の組合から全国大会などの場で国等に強く要望してきた制度改正がなされており、減価償却制度については、償却可

能限度額及び残存価格が廃止され、また、中小企業同族会社に対する留保金課税制度の撤廃や、事業承継を計画的に進めるための制度の創設などが盛り込まれた。

中央会では、今年も組合等中小企業者の経営環境改善のため、全国大会の場で国等に要望を行う予定ですので、ご意見をお願いします。また、税制について不明な点、相談、研修時の資料を希望される組合は、組織指導チームまでご連絡下さい。(資料は数に限りがございます)

県子育て支援企業制度に2組合等が登録

県では、従業員が子育てしやすい環境づくりに取り組む企業を支援するため「県子育て支援企業登録制度」を開始し、本会が申請に関する支援を行った大垣市の産業機器製造業「株式会社東伸」(藤吉繁子社長)が、その第1号として登録された。

同社では、幹部が率先して休暇を取ることで従業員の有給休暇取得を促すこと、残業しない日を設定するなど従業員が家族と過ごす時間の増加に努めたほか、家族手当の復活や子供数が多くなるほど子供出生祝金を増額するなど、従業員が働きやすい職場づくりに取り組んでいる。

藤吉社長は、「当社は3K、個人、家庭、会社の順に大切に企業を目指している。この取り組みが従業員の仕事に対する意欲の高揚にもつながるのではないか。」と話し、3月28日に県環境生活部の細田大造次長から登録証が手渡された。

また、岐阜県プラスチック工業組合(大松利幸理

事長)も同制度の登録を受けた。

なお、同制度は、「安心して子どもを生み育てることができる岐阜県づくり条例」の施行を機に創設された。登録企業は、県のホームページで企業名と取組内容の紹介、県の融資制度(子育て支援枠)の利用及び奨励金支給の対象企業となる。また、県内の金融機関から登録企業対象の資金融資及び従業員が利用するローンについて金利優遇が受けられる。詳しくはホームページ(<http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/s11123/touroku/>)をご覧ください。



中央会では、この制度に登録して頂ける組合及び中小企業の支援を行っております。制度への登録をはじめ、「一般事業主行動計画」の策定方法についての相談も受け付けています。お問い合わせは、組織指導チームまで、ご連絡下さい。

ア・ミュージズ岐阜で新作を発表

(社)岐阜ファッション産業連合会(野口千寿雄理事長)は、「第16回ア・ミュージズ岐阜」を3月6、7日に岐阜市金町のグランパレホテルで開催した。今年は、出品各社の販路拡大のため、出品社ガイドブックをさらに充実させるとともに、来場者の増加を期待して約1万2千通の招待状を送付、約5千人が来場した。

テーマは“Future and Past(未来と過去)”。60年代や80年代のスタイルが流行しているのを踏まえ、過去にあ

こがれたファッションを現代の視点で見直し、新しいスタイルとして提案している。また、ファッション評論家の日置千弓さんより「海外最新コレクション・レポート&セミナー」が開催され、パリやミラノなど有名ファッションショーの取材に基づいた最新トレンドについて説明された。



新酒の出来栄を確認

県内の造り酒屋が丹精込めて作った新酒の出来栄を評価し合う「第14回岐阜県新酒鑑評会」が、3月29日にグランヴェール岐山で開催された。

今年は35業者から新酒189点が出品された。暖冬の影響で各酒造場とも温度管理に苦労したとのことだが、会場には、入賞銘柄など出品された新酒が吟醸部門、純米部門、本醸造部門ごとに並べられ、造り酒屋の杜氏ら関係者は利き酒を行いながら新酒の出来を確かめ

ていた。

主な入賞銘柄と酒造業者は次のとおり。

【県知事賞】吟醸酒「玉柏」(資山田商店) 純米醸造酒「女城主」(岩村醸造(株)) 本醸造酒「やんちゃ酒」(有蒲酒造場)【県議会賞】吟醸酒「富久若松」(池田屋酒造(株)) 純米醸造酒「奥飛騨」(高木酒造(株)) 本醸造酒「美濃天狗」(林酒造(有))



社会福祉に貢献し知事から感謝状

岐阜県遊技業協同組合(岩本栄植理事長)は、県内の社会福祉に貢献するため、愛のともしび基金に100万円を寄付することとし、3月16日に組合役員が県庁を訪れ、古田知事に目録を手渡し、古田知事からは感謝

状が贈られた。組合では、過去にもこうした活動を何度か行っている。

また、岐阜市娯楽遊技業振興協同組合(岩本栄植理事長)では、市内の養護学校へスクールバス1台を寄贈した。岩本理事長は「こうした活動を通じて、多くの方に組合活動を理解してもらえれば」と述べた。

関市で「刃物とまちおこし」イベント

「関の刃物とまちおこし」イベントが3月31日と4月1日の2日間、関市の本町通り一帯で行われた。

地場産業の刃物の販売促進と商店街の活性化を図るため今年初めて開催し、(協)せき商連(深尾重光理

事長)では、一店一品運動に取り組んだほか、空き店舗を活用して刃物やツルムラサキを使った特産品の即売会などが行われた。また、(協)岐阜県刃物会館(清水公男理事長)では春のフェア「お客様感謝デー」として、包丁研ぎコーナーを設けるなど、関の商店街が盛り上がりを見せた2日間となった。

多治見市で陶磁器イベント

多治見市内で陶磁器の街をPRするためのイベントが多数開催された。4月8日は、高田地区、笠原地区で、14日には滝呂地区、14、15日は市之倉地区で、それぞれの陶磁器工業(協)が中心となり陶磁器の即売市などが行われ、観光客や地元消費者に産地直販の値打ち商品を提供したほか、各会場では各種イベントが行われた。

また、今年55回目を迎えた「たじみ陶器まつり」も14、15の両日、多治見市本町のオリベストリートを中心に開かれ、陶磁器卸商社55社の廉売市に加え、前回に引き続きスタンプラリーを開催するなど、会場を回遊させる工夫がされていた。



助成事業を活用した組合に聞きました!

昨年度、組合等活動支援事業を利用して、岐阜県飲食生活衛生同業組合(井上克彦理事長)が、組合の魅力づくりについて検討しましたので、ご紹介します。

テーマ:「組合員の減少に歯止めをかけるための対応策」

組合が抱える課題に組合員の減少がある。これは経営基盤の弱体化にも繋がり、組織化のメリットを最大限に発揮するためには、加入率を高める必要がある。そこで、魅力ある組合へと脱皮するため、組合が取り組むべき方策について研究した。

組合では、「飲食店を取り巻く環境は、コンビニ、チェー

ンストア、ファーストフード店など競合店の増加や食生活の多様化に伴って売上が減少し、厳しい状況である。こうした事から廃業等による組合員の減少が続き、また、組合へ加入するメリットを見いだせない事などから、新たに飲食店を営む事業主加入が進んでいない。しかしこの研究会を通じて、他県の取り組み事例等から組合員の減少に歯止めをかける方策についてヒントを得ることが出来た。そこで、組合員にとって魅力ある組合へと変わるため、支部単位で様々な活動を行うなど、出来る事から始めていきたい。」と事業の成果について話した。

中央会では、組合が抱える課題解決に向けて、様々な支援をしております。研修会などを検討している場合は、是非事前にご相談下さい。

春の交通安全運動 5月11日(金)～5月20日(日) 地域ぐるみで守ろう 子どもとお年寄り

【岐阜県交通安全対策協議会】

岐阜県からのお知らせ

平成19年度岐阜県中小企業資金融資制度のご案内

県内の中小企業者の皆さまに事業資金を円滑に調達していただくため「岐阜県中小企業資金融資制度(県制度融資)」を設けています。事業資金の借入れをご希望の際はぜひご検討ください。

～平成19年度の主な改正点～

- 1 子育て支援枠を創設しました
子育て支援に積極的に取り組む中小企業者には利率を0.1%割引した支援枠をご用意。
- 2 返済ゆったり資金(借換え資金)の対象を拡大しました
これまでの県制度融資のみの借換えに加え、県制度融資と県信用保証協会の保証つき借入金を一本化できるようになりました。
- 3 融資利率の見直し
平成19年4月1日から融資利率を0.2%～0.4%引き上げました。

～制度の一覧(平成19年4月1日現在)～

資金名	こんなときにご利用ください	融資利率()内保証なし
経営安定資金	長期事業資金	年1.6%(年1.8%)
小規模企業資金	小規模企業者の事業資金	年0.8%
季節資金	夏季、年末時期に必要な短期事業資金	年1.4%(年1.6%)
ぎふ無担保スピード資金	スピード審査により事業資金を調達	金融機関所定
売掛債権担保活用資金	売掛債権を担保として事業資金を調達	年1.4%
産業活性化資金	地場産業等の活性化を図る(新商品開発、販路拡大等)	年1.2% 償還期間10年超:年1.6%
創業支援資金	新規開業、県内での事業歴が1年未満	
経営革新資金	経営革新、新分野進出、国際的事業展開、新商品開発	
経営合理化資金	事業所等の新增改築、設備の購入	
福祉まちづくり枠	高齢者・障害者に配慮した設備の整備	から0.1%割引
子育て支援枠 新設	県の子育て支援登録事業者、事業所内保育施設の設置等	
地震防災枠	耐震性を向上させるための既存施設の改修	
経済変動対策資金	売上減少等の業況悪化に対応して経営安定を図る	年1.2%
関連倒産防止資金	取引先企業の倒産に対応して経営安定を図る	年0.8%
返済ゆったり資金 拡大	毎月の返済額を軽減、複数の借入れを1本化(借換え資金)	金融機関所定
中小企業再生支援資金	県中小企業再生支援協議会の支援を受け事業再生を図る	金融機関所定

詳しくは、パンフレット「平成19年度岐阜県中小企業資金融資制度のご案内」をご覧ください。パンフレットは、金融機関、岐阜県中小企業団体中央会、県振興局等に備えております。

～融資のお申込み・ご相談は～

金融機関の県内店舗で受け付けています。手続き方法は金融機関所定です。なお、お申込みの際は金融機関及び県信用保証協会の審査があり、ご希望に添えない場合もあります。

岐阜県中小企業課 TEL 058-272-1111 内線3065.3066

<http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/s11363/yuushi/index.htm>

景況感3ヶ月ぶりに後退

材料高によるコストアップが課題

3月景況調査

中央会が主要業種85組合(うち83組合による集計)を対象にまとめた『3月の特色』は次のとおり。

【3月の特色】組合から見た県内中小企業の特色は 景況感3ヶ月ぶりに後退、材料高によるコストアップが課題となっている。

3月の景気動向を前年同月比景況感DI値で見ると、DI値は、マイナス31となり、前月のマイナス24に対し、7ポイントの悪化となった。景況感DI値は、前月までの2ヶ月連続の改善の後、当月再び悪化となった。要因は、改善業種、悪化業種の割合ともに増加した中、悪化業種割合の増加が改善業種割合の増加を上回ったことによるものである。

他の主要な動向については、それぞれ前月の動向に対し、売上高DI値マイナス15で4ポイントの悪化、販売価格DI値マイナス2で1ポイントの改善の動きとなった。収益状況DI値はマイナス29で前月と同数値と厳しい状況となっている。

業種別の業況概況は、概ね前月と同様であるが、特記すべきこととして機械関係が堅調を維持していること、建設では厳しい状況が続いていることがあげられる。

コメントでは、原材料価格等の値上りによるコスト増と価格転嫁難による収益面への影響を指摘する意見が多く、業種からでている。また、今月は寒が戻り、その影響により、アパレルに春物需要が低調であるとの指摘がある。

県内中小企業主要業種の景気動向 (3月末調査)

表の見方：売上・景況感： 好転・増加 変わらず 悪化・減少

区分	業種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
食料品	牛乳・乳製品 豆腐 食肉(国産) 菓子菓 米 寒天 水産物	系						
		ニット工業						
		毛織物						
		合成繊維織物						
		メンズアパレル						
繊維・同製品	織製(既製服)	婦人・子供服						
		縫製(既製服)						
木材・木製品	製材 銘木 集成材 家具(飛騨地区) 東濃ひのき	材						
		材						
紙・紙加工品	家庭紙 特殊紙 紙加工品	紙						
		紙						
印刷	印刷							
化学	プラスチック							
窯業・土石	窯業・土石	陶磁器(工業)						
		陶磁器(輸出)						
		タイル						

区分	業種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
窯業・土石	窯業原料 石灰 生コンクリート 砂利生産 砕石生産							
鉄鋼・金属	鑄物 刃物等金属製品(輸出) 刃物等金属製品(内需) メッキ							
一般機械	県金属工業団地 可児工業団地 金型							
電機機器 輸送用機器	電気機械器具 輸送用機器							
各種物産品	各種物産品(観光) 各種物産品(ギフト)							
卸売業	医薬品卸 電設資材卸 陶磁器産地卸 機械・工具販売							
小売業	青果販売 水産物商業 家電機器販売 メガネ販売 中古自動車販売 石油製品販売 共同店舗(東濃) 共同店舗(飛騨) 生花販売							
商店街	岐阜市商店街 大垣市商店街 多治見市商店街 恵那市商店街 高山市商店街							
サービス業	自動車車体整備 自動車タイヤ整備 長良川畔旅館 下呂温泉旅館 高山旅館 クリーニング 広告美術 情報サービス業 映像制作業 飲食業 ビルメンテナンス 理容・美容業							
建設業	土木(岐阜地区) 土木(飛騨地区) 土木・建築(羽島地区) 建築(各務原地区) 鉄構造物 電気工事 管設備工事 建築板金 木製建具 産直住宅(付知地区)							
運輸業	貨物運送(県域) 軽運送							

組合クリニック(組合相談Q & A)

組合から次の相談がありましたのでご紹介します。組合において相談事項があればどんな事でも構いませんので、中央会までご相談下さい。

Q. 組合員から脱退の申し出があり、その持分について他の組合員に引き受けてもらうこととなりましたが、どのような手続きが必要ですか?

A. 持分の譲渡については、組合の承諾を受けなければなりません。この承諾は、業務の執行に属すると考えられるので、加入の承諾と同様に理事会で決定すれば足ります。

一方、持分の譲受人が組合員でないときは加入の手続きと同様に扱わなければならない、譲受人は組合員たる資格を有する者であって、かつ、その持分を譲り受けると同時に組合に加入する意思を有していなければならない。また、組合においては、その譲渡の承諾にあたっては、正当な理由がなければこれを拒否したり、承諾に際して不当に困難な条件を付してはいけません。

会報紙「岐阜県中小企業情報」に関するアンケート

素敵なプレゼント付き!

いつも本紙をご愛読頂きありがとうございます。本紙の今後の編集の参考にさせて頂きたいと考えておりますので、下記のアンケートにご記入の上、FAX(058-273-3930)でご返送をお願い申し上げます。

ご回答頂いた皆様の中から抽選で、毎月11日の「麺の日」にちなんで岐阜県製麺協同組合様にご協力いただき「高山ラーメンセット」を10名様に、5月13日の母の日にちなんで岐阜生花市場協同組合様のご協力により「フラワーギフト」を2名様にプレゼントさせていただきます。締め切りは5月9日(水)必着。なお、当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。多くの皆様からの回答をお待ちしております!

問1 会報紙「岐阜県中小企業情報」の内容は役に立っていますか?

非常に役に立っている 役に立っている あまり役立っていない 全く読まない

問2 会報紙の記事について、どの程度読まれていますか?

頁	内容	必ず読む	見出しを見て読む	目で流す程度	全く読まない
1	時の課題				
2	中央会の動き(中央会の事業報告など)				
3	組合等の動き(組合の活動等の紹介など)				
4	景況調査				
5	海外レポート/岐阜県事務所通信				
6	組合クリニック(組合問題Q & Aなど)				
7	事務局だよ! セミナーの開催案内など)				

会報紙で掲載して欲しい情報等をご記入下さい。

問3 会報紙の記事をどのように活用していますか?

組合に備え付けている 必要な部分をコピーして組合員に配布している
役職員に回覧する その他()

氏名		組合・企業名	
住所	〒	電話番号	

お預かりした個人情報、利用目的以外の用途には使用いたしません。



組合員さんへの配布をお願いします!

中央会では、中央会事業の紹介、仕事と家庭の両立支援、共済・保険制度に関するリーフレットを作成しました。これらのリーフレットは、組合のみならず、会員企業の皆様にも参考になるものと考えますので、趣旨をご理

解いただき、組合で開催される理事会や総会等での配布、又は総会の開催案内への同封などにご活用いただければ幸いです。なお、今月上旬に組合宛に各1部づつ発送させて頂いておりますので、必要な折には広報・事業チームまでご連絡下さい。

研修生受入管理等研修会のご案内

中央会では、外国人研修生受入制度、一次受入機関、二次受入機関の役割と遵守事項を再認識していただくため、報告されたトラブルの傾向や受け入れの実態についての説明会を開催します。また、名古屋入国管理局からは、トラブルの事例説明や制度説明など、受入機関の責務についても説明します。お

問い合わせは組織指導チーム。

【日時】6月6日(水) 14:00~16:00

【場所】県民ふれあい会館 301中会議室

【講師】岐阜労働局 監督課 夏麻監察監督官
名古屋入国管理局関係職員

【テーマ】外国人研修生、技能実習生受入機関の責務について

組合役員向け研修会のご案内

組合において、役員が果たす役割は非常に重要です。中央会では、新たに役員となられた方々はもちろんのこと、既に役員とされている方々を対象に、組合役員として知っておきたい基本的な知識、心掛けておかなければならない義務と責任等について再認識していただくとともに、活力ある組合にするための組合役員に必要な役割等についての研修会を開催します。組合運営において大変参考となる内容で

すので、是非、多数のご参加をお待ちしております。お問い合わせは、組織指導チーム。

【日時】6月20日(水)

13:30~15:30

【場所】県民ふれあい会館 302
大会議室

【講師】明治大学政治経済学部
森下正教授

【テーマ】活力ある組合にするために組合役員に必要な知識と役割

組合役員研修会
活力ある組合にするために組合役員に必要な知識と役割

明治大学政治経済学部 教授 森下 正 氏

とき **6月20日(水)**
13:30~15:30

ところ 県民ふれあい会館
302大会議室

県産業振興ビジョンが策定される

県は、このたび、平成19年度~23年度を計画期間とする「岐阜県産業振興ビジョン」を策定した。「県民力や地域力を活かし、伸ばす」、「県民の皆さんとともに」をコンセプトとし、中央会からも会長、副会長が参加し策定された。

基本理念は、「モノづくり産業」、「サービス産業」

が発展・成長し、両輪として県経済を支えている姿の実現を目指すとし、基本方針として、世界企業を支える高度技術の(中小)企業群の集積、歴史・自然・文化を活かした産業観光の発展と地場産業のブランド力の向上、地域資源を活用したまちづくり、新しいビジネスの創出・成長をあげている。詳細は、県ホームページをご覧ください。

岐阜産業保健推進センターを活用して下さい!!

岐阜産業保健推進センターでは、広く産業保健活動への支援を目的に事業活動をしており、労働安全衛生法に係るビデオや図書等の貸出、専門ス

タッフによる相談、産業保健に関する研修、産業医共同選任や自発健康診断助成金事業等を無料で行っています。

詳しくは、ホームページ(<http://www.sanpo21.jp>)をご覧ください。

中央会の人事異動

中央会では4月1日付けで次のとおり異動がありましたので、お知らせします。(敬称略)

異動

【事務局長】池田眞澄

【組織指導チームチーフリーダー】大沼浩宣

新規採用

【飛騨支所長】加藤 修

【管理調整チーム】小栗絹子

退職

藤澤志成局長が3月31日付けで中央会を退職致しました。



県・中小企業課の人事異動

県の人事異動がありましたので、関係分を紹介いたします。なお、()内は前職です。(敬称略)

産業労働部次長 細田大造(環境生活部次長)

【中小企業課】

課長 伊藤誠紀(労働雇用課長)

総括管理監 國枝義弘(東濃振興局産業労働課長)

パーク)

22日 中央会レディースクラブ第8回通常総会(14時~ / グランヴェール岐山)

28日 中央会第52回通常総会(13時30分~ / 未来会館)



5月中

8日 中央会理事会(10時30分~ / ふれあい会館)

11日 青年中央会第33回通常総会(18時~ / ホテル

3月21日~3月31日

23日 (財)岐阜県産業経済振興センター中心市街地活性化推進委員会・商店街競争力強化推進委員会(ふれあい会館)

26日 平成18年度岐阜眼鏡士認定委員会(ホテルパーク)

27日 岐阜県社会福祉協議会評議員会(農業会



館)

4月1日~4月20日

17日 平成19年度中小企業資金融資制度説明会(県シンクタンク庁舎)

19・20日 中央会監事会(ふれあい会館)